

# 新・首里杜構想の策定について

1. 新・首里杜構想策定にあたっての前提条件
2. 新・首里杜構想と首里城復興基本計画の関係
3. 検討の進め方
4. 首里杜構想(S59・S61)の概要と課題
5. 社会環境の変化や課題
6. 新・首里杜構想の理念と方針



# 1. 新・首里杜構想策定にあたっての前提条件

## 1) 前提条件の整理

- 昭和59年に県が策定した「首里杜構想」は、首里城跡にあった琉球大学の西原への移転後の跡地利用として、歴史的な**首里城公園の整備**や、首里城を中核とする**首里杜地区**とこれを取り巻く**首里歴史的風土保全地区**と一体となった、**今後の歴史まちづくりの方向性**を示したものである。
- その理念は各種計画に生かされ、首里城公園の整備や周辺まちづくりなどで一定の成果がみられるものの、社会環境の変化や時代のニーズなど**新たなまちづくりの視点**を踏まえた新構想の必要性が高まっている。
- 首里杜地区の歴史まちづくりには、国、県、那覇市や地域住民が連携して取り組む必要があり、将来の**目指すべき方向性**を明確にし、**共有**するため、新・首里杜構想を策定する。

## 2) 今年度の検討事項(案)

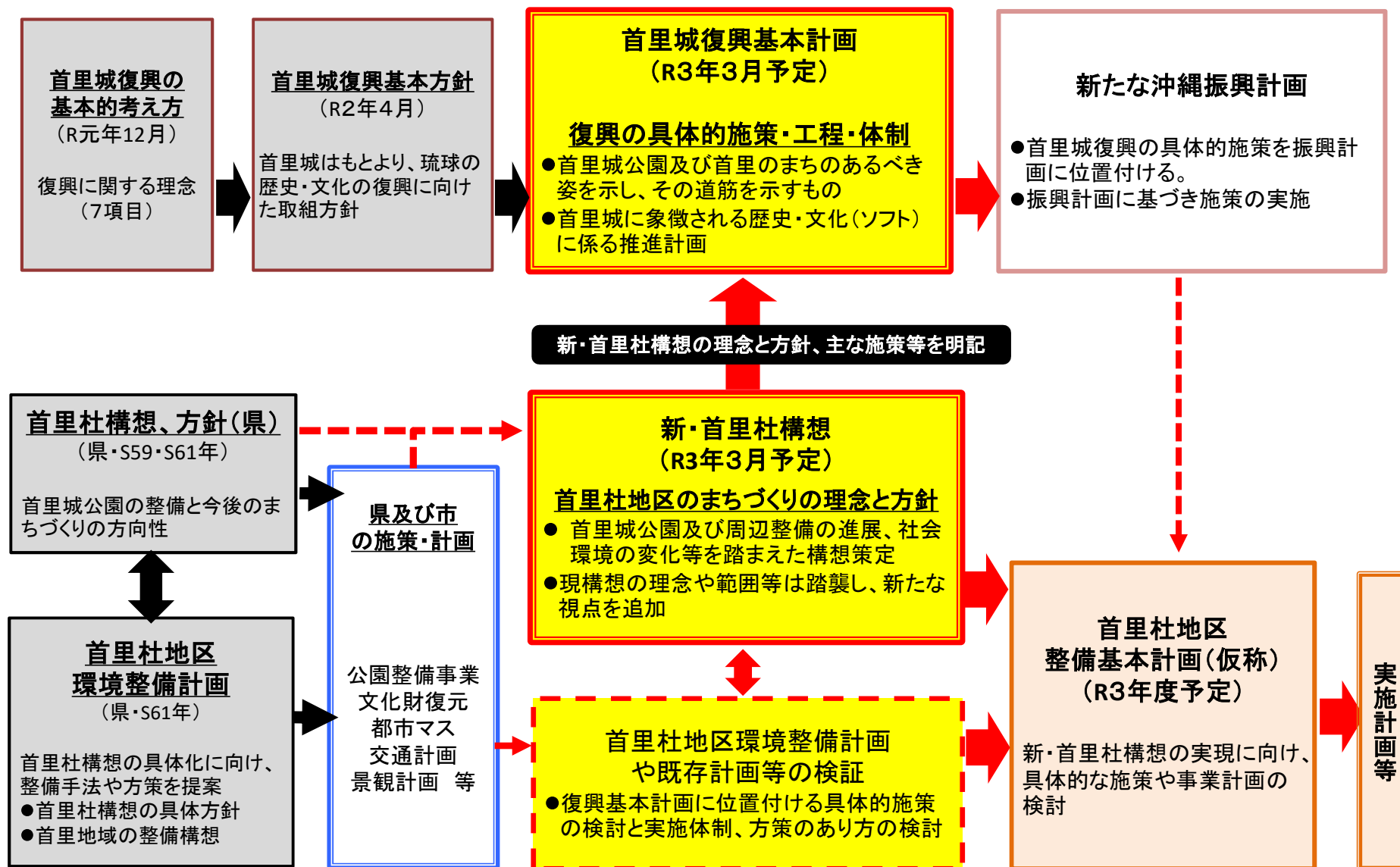
- 新・首里杜構想の理念と方針、〇〇年後の将来像
- 優先すべき施策(約10年程度)の検討
- 実施体制や方策実現のためのあり方の検討

## 2. 新・首里杜構想と首里城復興基本計画の関係

- 新・首里杜構想は将来のまちづくりのビジョンとなる。
- 一方、首里城復興基本計画は、首里城正殿等の復元スケジュールや新たな振興計画の期間と関連性が高いことから、約10年程度の期間を想定している。
- 首里城復興基本計画は新・首里杜構想の実現方策のうち、優先事項を踏まえた具体的な施策を反映させることを想定。

	R2～R3	R4～R8	R9～R13	R14以降
新・首里杜構想	将来像 ○○年後			
首里城公園復元整備	設計等	正殿工事	他施設工事	
首里城復興基本計画	短期			
	中期			
	※期間(案) 長期			
新たな沖縄振興計画				

## 2. 新・首里杜構想と首里城復興基本計画の関係



# 3. 検討の進め方

## 第1回 懇談会

- 施策の現状と課題の整理
- 有識者懇談会の進め方

## 第2回 懇談会

- 各部会の内容を踏まえた総合的な議論

## 第3回 懇談会

- 各部会の内容を踏まえた復興基本計画に関する総合的な議論

## 第2回 部会

### 【新・首里杜構想のありかた】

1. 首里杜構想の概要を確認（経緯、成果）
2. 社会環境の変化や地域の課題を確認
3. 新・首里杜構想の理念や方針の検討

## 第3回 部会

### 【新・首里杜構想（案）検討と実現方策】

1. 新・首里杜構想（案）
2. 優先すべき施策の検討
3. 実施体制や方策実現のあり方の検討

### 【正殿等の早期復元と復元過程の公開】

### 【首里城公園のさらなる魅力の向上】

部会における論点整理のためのテーマ別打合せ

- (例)
- 景観まちづくり
  - 歴史資源
  - 交通 等

## 4. 首里杜構想（S59、S61）の概要

### 1) 首里杜構想とは

首里城跡にあった琉球大学の移転後の跡地利用として、歴史的な首里城公園の整備を位置づけた『首里城公園基本計画調査（S59）』とこれに続く『首里城公園整備計画調査（S61）』において示された、まちづくりの方向性である。

首里杜構想の**中核を首里城公園**として整備し、首里城と密接な関連のある施設や歴史的風土の保全、景観の形成及び生活環境施設の整備が必要な地区を**首里杜地区**、さらにその外側の歴史的発展を特徴づけた**首里歴史的風土保全地区**と、3重構造による古都首里のまちづくりの方向性を示した。

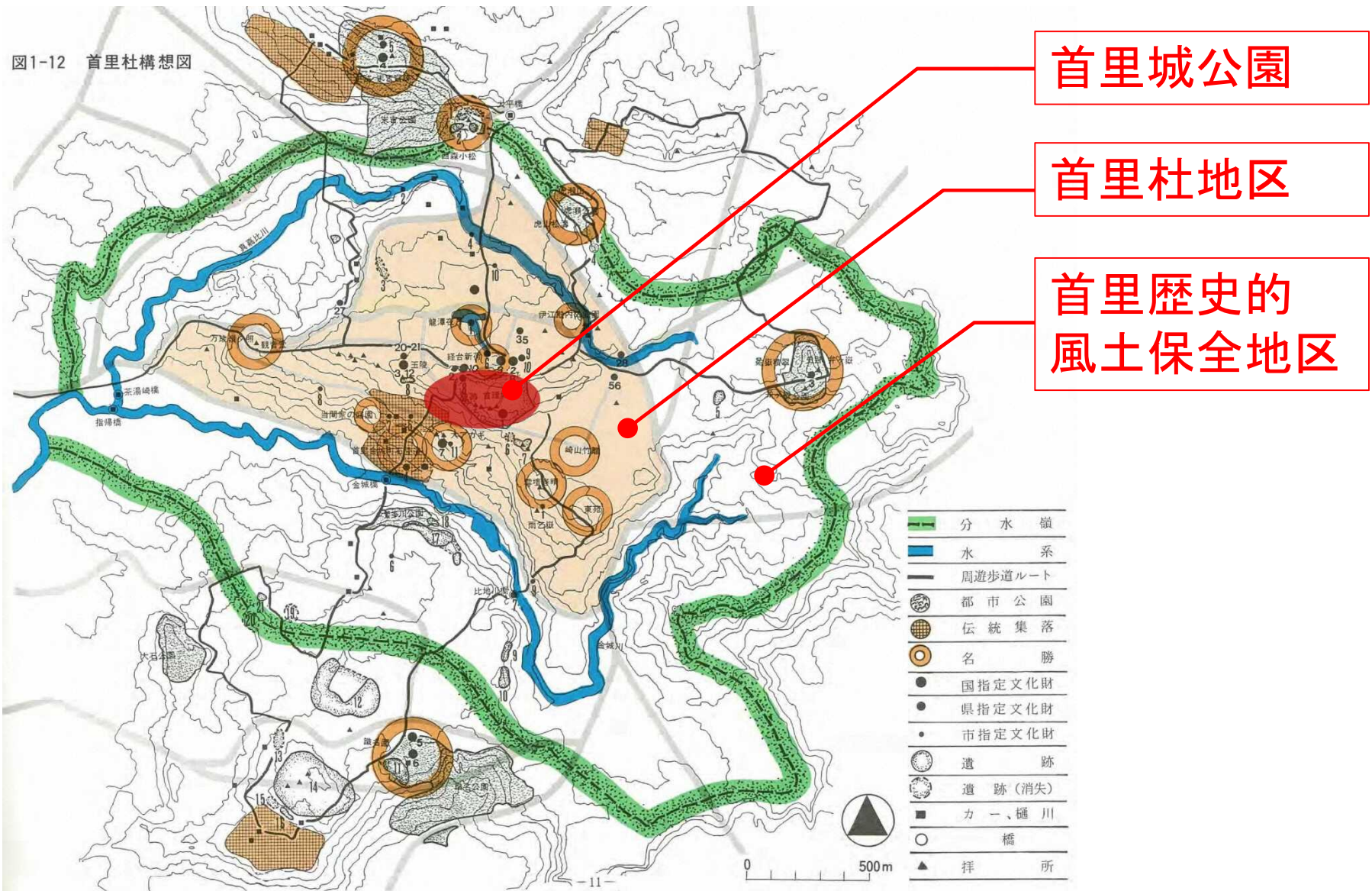
### ◆ 首里杜構想の功績

- ・ 首里城公園の実現の道筋をつけ、公園の基礎的な方針を固めた
- ・ 首里城は単体でなく、周囲のまちや環境と一体的な存在だという視点を示した（3重構造）



# 4. 首里杜構想 (S59、S61) の概要

## ◆ 首里杜構想の3重構造



## 4. 首里杜構想（S59、S61）の概要

### 2) 首里杜構想の成果

#### 首里城公園について

- ・概ね計画通りに整備（一部未整備）。

#### 首里杜地区について

- ・歴史的なまちづくりという方向性が継承され、各種計画や事業に生かされている。
- ・「首里杜地区環境整備計画」の各プランのうち、歴史の道や主なカーの整備は概ね実現（事業中含む）。  
まちなみ保全是一部区域で取り組み中。  
交通規制、風致地区、保全緑地指定は未着手。

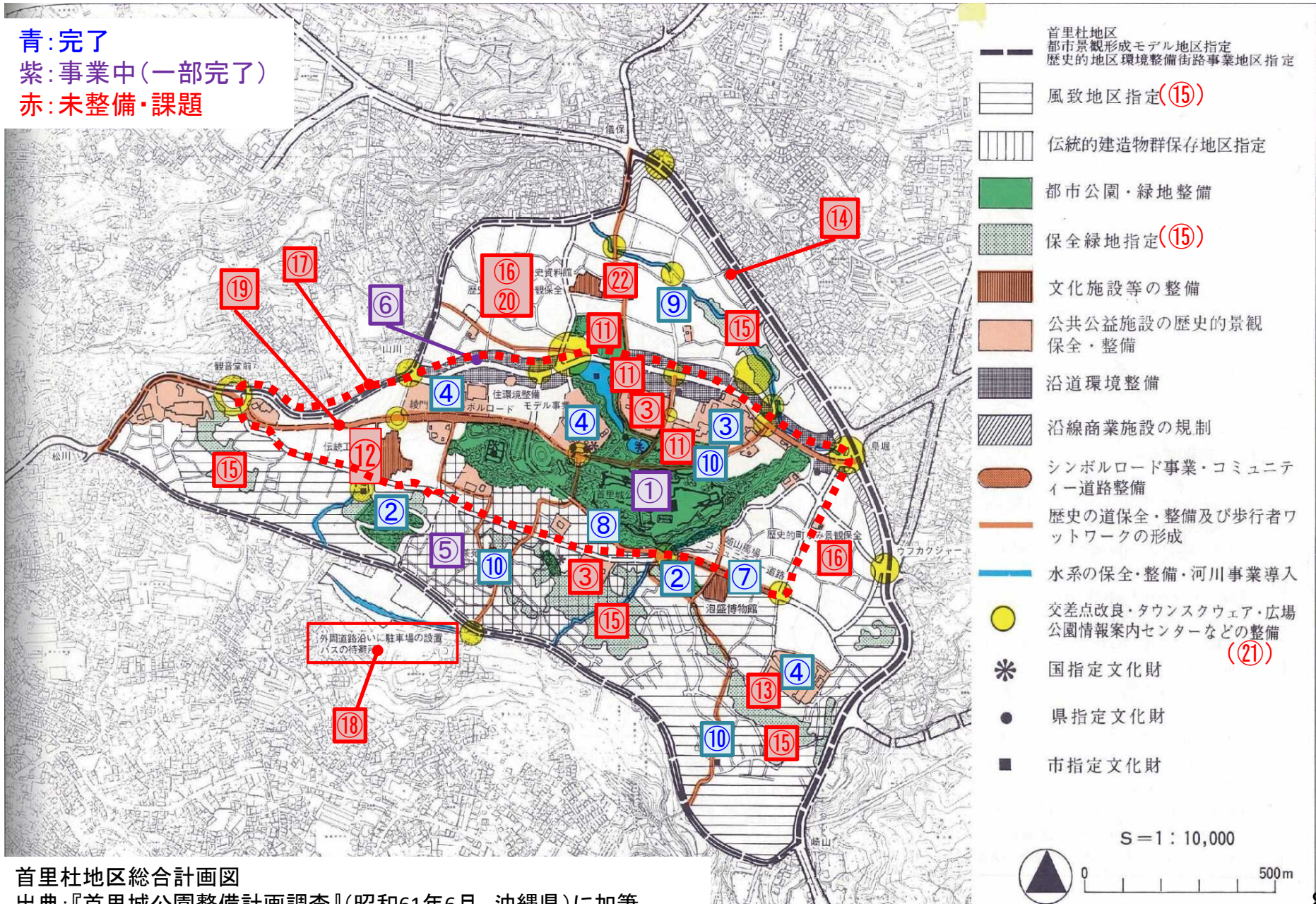
#### 歴史的風土保全地区について

- ・自然調査や外郭スカイライン保全是未着手。
- ・遠望、眺望保全のうち、八景の大半は整備済み。斜面緑地保全や環状線の高さ規制は未着手。



# 個別事業の進捗

青:完了  
 紫:事業中(一部完了)  
 赤:未整備・課題



首里杜地区総合計画図

出典:『首里城公園整備計画調査』(昭和61年6月、沖縄県)に加筆



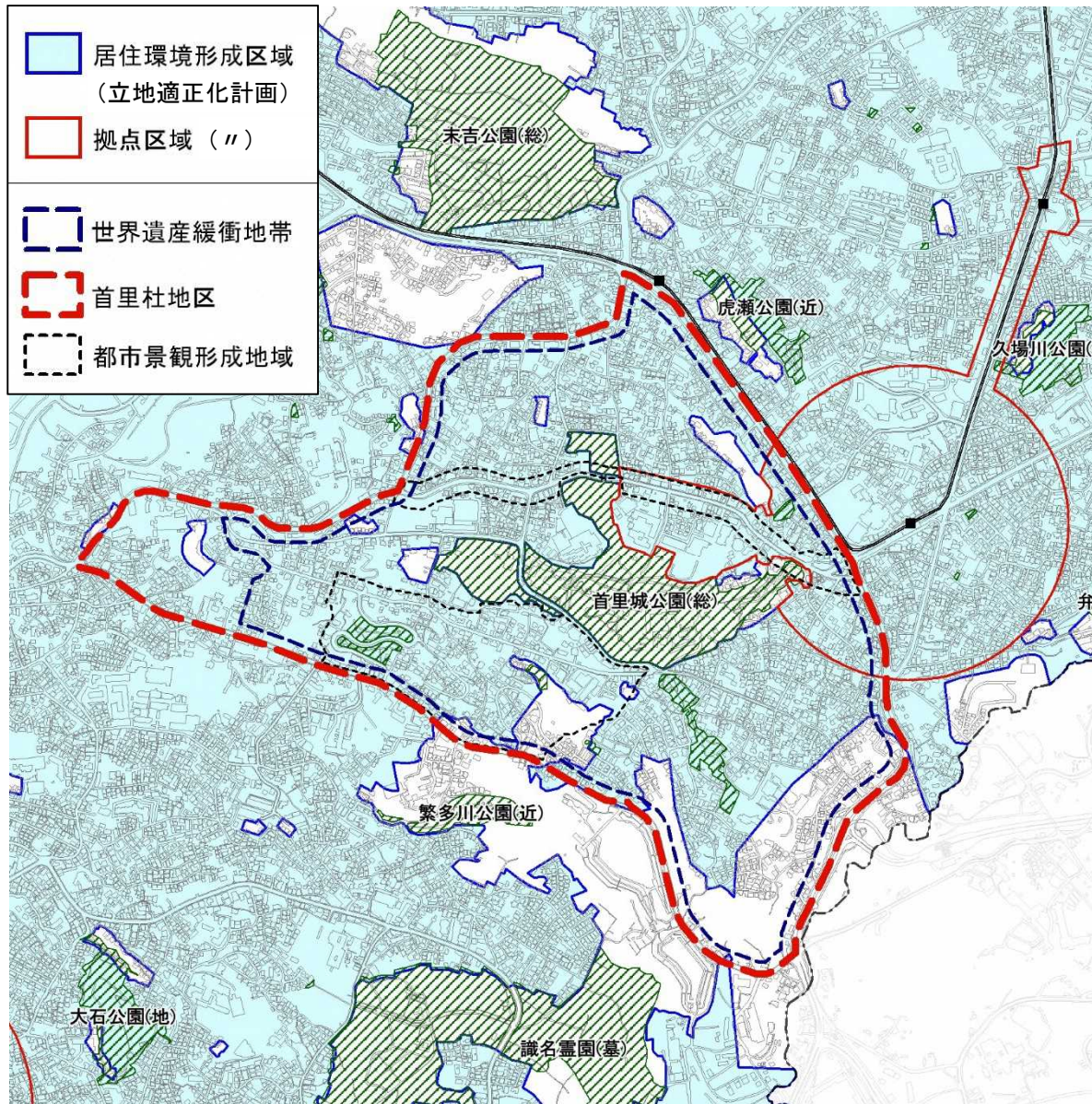
# 個別事業の進捗

テーマ	成果	積み残し
文化財及び文化施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>△首里城公園の整備①</li> <li>○都市公園・緑地整備(寒川緑地・崎山公園)②</li> <li>○樋川・共同井戸の整備(金城大樋川等)</li> <li>○県立芸大環境整備(一部移転)③</li> <li>△公共施設の歴史的景観・整備④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県営区域(中城御殿・松崎馬場、円覚寺)の整備⑪</li> <li>・伝統工芸館の整備⑫</li> <li>・御茶屋御殿の復元の検討 ⑬</li> <li>・芸大跡地の利用 ③</li> <li>・新たに価値づけられた文化財の保存と整備(伊江殿内庭園・弁ヶ嶽)</li> </ul>
景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○金城町地区・龍潭通り沿線における都市景観形成地域の指定⑤⑥</li> <li>○景観賞などの啓発活動</li> <li>○世界遺産の緩衝地帯の指定</li> <li>○景観整備機構の認定(首里まちづくり研究会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環状線沿いや斜面樹林地における建物等の高さ制限(首里城からの眺望景観の保全)⑭</li> <li>・歴史的な緑の斜面・稜線の確保(緑地保全地区・風致地区の指定)⑮</li> <li>・歴史的まちなみ景観保全(首里三箇、北方地区)⑯ ※三箇(崎山、赤田、鳥堀)、※北方(当蔵、大中、池端、儀保)</li> <li>・首里八景などの眺望景観の保全</li> </ul>
交通まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○崎山馬場コミュニティ道路⑦</li> <li>○首里城周辺シンボルロード⑧</li> <li>△金城町の歴史的街路事業⑤</li> <li>△龍潭通り街路事業⑥</li> <li>○沖縄都市モノレールの開通</li> <li>○首里城下町線(バス)の運行</li> <li>○歴史散歩道の整備(赤平当蔵線)⑨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首里城周辺の自動車規制⑰</li> <li>・市道沿いへの駐車場確保(バス待機所)⑱</li> <li>・綾門大道の歴史的な整備の実現⑲</li> <li>・大中町細部街路 ⑳</li> <li>・交差点改良 ㉑</li> <li>・儀保大道整備 ㉒</li> </ul>
周辺の周遊観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周遊歩道の整備(金城町石畳道、ヒジガービラ、城の下道 等)⑩</li> <li>○史跡・旧跡、植物等の解説板整備</li> <li>○市民ガイド等による散策ツアー</li> <li>○首里城復興モデルコースの提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首里城と周辺を有機的に周遊する仕組みづくり</li> </ul>

○完了、△事業中(一部完了)、下線:首里杜構想以降に提案されたもの ①～:図に対応

# 首里杜構想を踏まえたまちづくり計画の動向

- 居住環境形成区域  
(立地適正化計画)
- 拠点区域 (〃)
- 世界遺産緩衝地帯
- 首里杜地区
- 都市景観形成地域



- 那覇市都市マスタープラン
- ・首里地区の方針: 歴史的な集落の街並みの保全と創出ほか、交通や歴史要素・景観保全などを掲げる

- 那覇市景観計画
- ・首里歴史エリア(≒首里杜)の方針: 歴史的・伝統的景観保全
- ・【重点地区】金城町、龍潭通り

- 那覇市立地適正化計画
- ・首里駅周辺を、都市機能集約の拠点区域のひとつに位置付け
- ・居住誘導区域から急傾斜地等を除外

- 那覇市総合交通戦略
- ・歩行者・自転車空間充実／段階的な自動車交通の抑制の方針
- ・交通不便地域へのデマンド交通

- 首里杜地区まちづくり協議会
- ・R2.6、地域のまちづくり活動を行う6団体が協議会を結成



## 5. 社会環境の変化や地域の課題

項目	課題
交通問題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 観光車両による局所的な渋滞。通り抜けや細街路への入り込みによる危険。</li><li>・ 児童の安全な通行が確保されていない。</li></ul>
高齢化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人口減少や高齢化により、地域活力やコミュニティ維持に懸念。</li><li>・ 坂や階段が多いまち + 免許返納率も高まる → 公的交通手段が必要。</li></ul>
まちなみ維持	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 石垣、赤瓦の維持に個人の負担が大。改築時の石垣撤去</li><li>・ 景観重点地区に限られ、他のエリアでは方策がない</li><li>・ 御嶽、カー、屋敷林の維持負担</li></ul>
細街路整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 長期未着手の大中町細街路事業が、建築等を阻害（R1年度、再開にむけて那覇市が住民との協議会を設置済み）</li></ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 観光客が地域にまで足を延ばさないため、地域に利益がまわらない。</li><li>・ 観光客に十分なコンテンツを示せていない</li><li>・ プライバシー侵害など住民の負担。</li><li>・ Win-Winの関係づくりが必要</li></ul>

## 6. 新・首里杜構想の理念と方針

### 理念(案)

首里城を頂点にした首里のまちは、国際交流によって独特の文化を築いた琉球王朝の王府として発展した古都である。またその基盤となったのが、水系や骨格的な地形からなる首里ならではの風土環境である。

これらを一体的なものにとらえた「首里杜構想」の視点を受け継ぎ、首里杜地区を多様なステークホルダーの参加と連携によって、琉球の歴史的文化的遺産を生きた姿で後世に伝え、首里にふさわしいまちづくりを目指す。

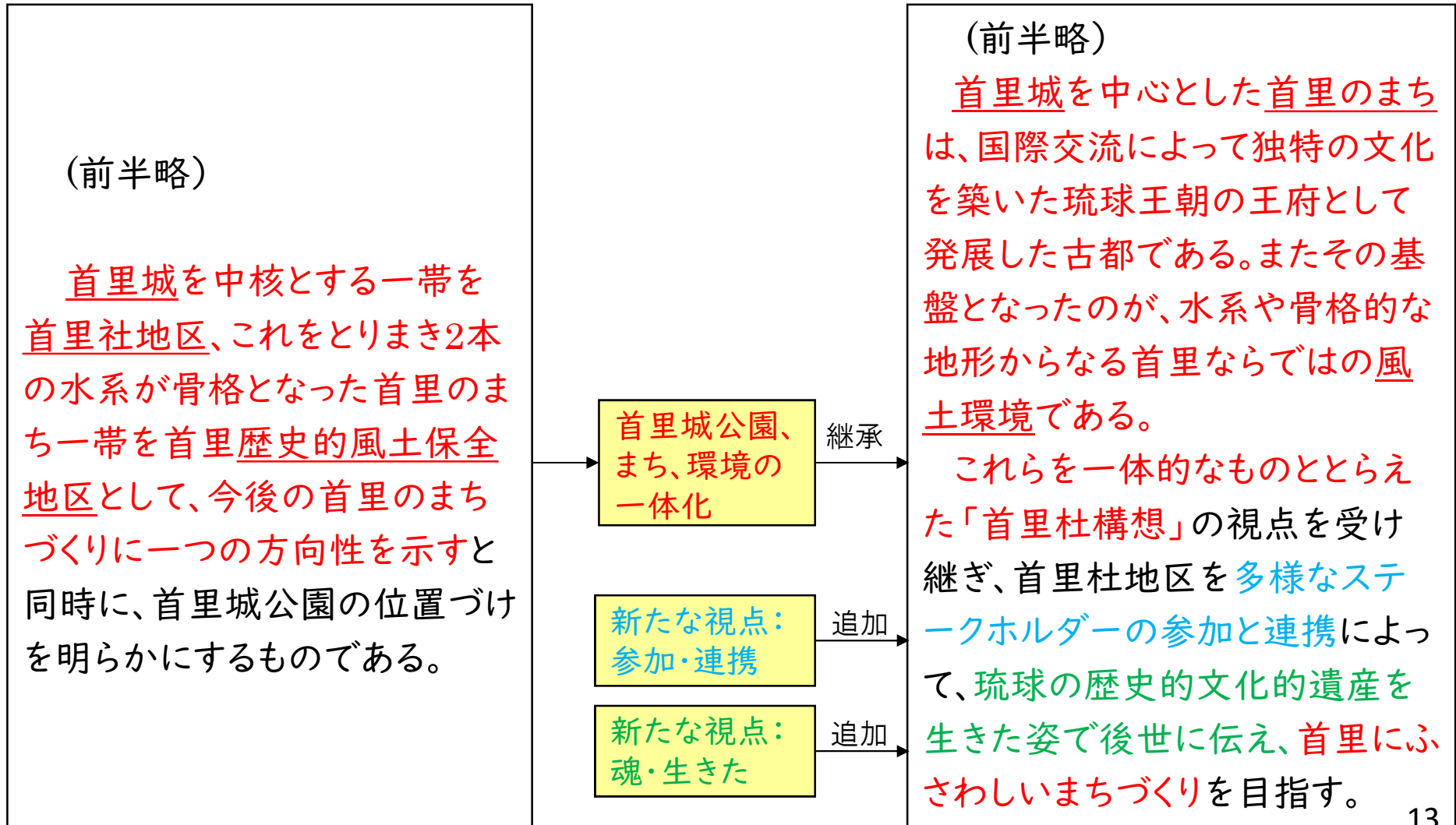
趣旨：三重構造の継承＋参加と連携＋魂（生きた）



# 参考：旧「首里杜構想」本文(S59)との比較

首里城公園基本計画調査報告書  
(S59)本文「首里杜構想」

今回の理念(案)



## 6. 新・首里杜構想の理念と方針

### 方針(案)

1. 中核をなす首里城および外苑の一群の文化資源を保存・整備するとともに、文化を育む拠点の充実を図る
2. 古都首里の格調高い歴史的なたたずまいに配慮した景観形成とともに、住みやすく魅力的なまちづくりを進める
3. 総合的な交通対策による歩行者中心のまちづくりを進める
4. 歴史的風土の環境を保全する
5. 行政機関及び地域住民、有識者等が連携して取組を進める

趣旨：中核、まちづくり(景観等／交通)、環境＋連携

